



## 人生や社会に生きる確かな学び

### ○授業イノベーションの推進

1人1台端末を教室で日常的に活用できる学習環境が整備され、有効なツールとして活用することで個別最適な学び、協働的な学びを具現することができます。子どもが主体となり、様々な人と協働し、新たな価値の創造に挑む多様な学びの実現に向けた授業イノベーションを推進してください。

### ○学習活動の質の向上

全国学力・学習状況調査では、複数の資料から必要な情報を見つける、日常の事象を表、式、グラフなどを用いて説明する記述式の問題において課題があります。基盤となる能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）や確かな学力の育成に向け、学習活動の質の向上に取り組んでください。

## 長岡への愛着と誇りを育む学習

### ○地域教材等を活用したふるさと学習の推進

郷土の歴史や自然、文化等を学び、その素晴らしさに触れることは、子どもにふるさと長岡への愛着と誇りを育むことにつながります。「わたしたちのまち長岡」や「ながおか学」、地域の人材、施設等を積極的に活用したふるさと学習の取組を推進してください。

### ○発達段階に応じた平和教育の充実

県内で唯一大規模空襲を受けた都市として、平和教育を推進しています。夏季休業前に長岡空襲について学ぶ機会を設けたり、戦災資料館の見学や学んだことを発信したりするなどの活動を取り入れながら、各学年の発達段階に応じた平和教育を実施してください。

## 夢・志・自信を育む教育活動

### ○実体験・感動体験の充実

実体験・感動体験は、意欲や豊かな感性を育み、人生の基盤をつくります。中学校区で目指す子どもの姿に照らし合わせ、本物に触れ感動を味わう、集団や互いのよさを感じる、挑戦し自分の可能性に気付く、勤労生産・奉仕といった体験を、発達段階を考慮して実施してください。

### ○特別活動を中核としたキャリア教育の推進

より豊かなキャリア形成のために、特別活動を中核に、総合的な学習の時間、道徳科の取組を柱とし、全教育活動で子どもが資質・能力を発揮できるようにすることが大切です。学習指導要領の趣旨に沿って見直し・改善・充実を図り、全校体制で推進してください。

## 互いに認め合う温かな人間関係づくり

### ○自己の生き方について考えを深める授業づくり

子どもの道徳性を育む指導方法の改善に引き続き努めるとともに、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める授業づくりを進めてください。

### ○同和教育を中核とした人権教育の充実

コロナ禍により人権教育・啓発の重要性が再認識されています。年間指導計画に基づく同和教育を中核とした人権教育をさらに充実させてください。

### ○様々な人と交流する体験の実施

子どもの道徳的価値を単に知識としてではなく実感として深め、互いに認め合う温かな人間関係を築く、様々な人との交流体験を実施してください。

## 一人ひとりを大切にしたい支援

### ○個々の教育的ニーズへの対応

全教職員の理解の下、インクルーシブ教育システム（基礎的環境整備・合理的配慮・学びの場の連続性）の構築による個々の教育的ニーズへの対応を充実させてください。また、「すこやかファイル」、「個別の指導計画」等を適切に作成・活用し、次のステージに活かすよう情報共有を図ってください。

### ○校内支援体制の構築

子どもが抱えている課題を多面的に理解し、その子の実態に基づいた指導・支援を行えるよう、校内支援委員会を機能させてください。必要に応じて各専門機関（医療、市教委、こども・青少年相談センター等）と連携を図り、さらなる支援の充実に努めてください。

### ○Edu-Diver構想による多様な教育的ニーズへの対応の推進

日本語指導を要する児童生徒への支援や入院時の学習支援等、Edu-Diver構想の支援体制を活用し、多様な教育的ニーズへの対応を推進してください。

## 安心・安全で心やすらぐ学校づくり

### ○子どもの気持ちに寄り添った指導・支援の充実

不登校や解決が長期化するいじめが増加しています。子どもの気持ちに寄り添った相談、子どもの発信するSOSへの気付きを大切にし、組織的な対応に努めてください。

### ○「長岡市SNSセーフティープログラム」の活用

SNSやオンラインゲームの不適切な利用、ゲーム依存による実生活上の問題が増えています。長岡市SNSセーフティープログラムを活用した発達に応じたモデル指導と学校・家庭・外部機関が連携した取組を進めてください。

### ○防災教育の充実

中越大震災や新潟・福島豪雨の被災地として、災害に関する正しい知識と行動力を身に付けるため、防災教育の充実に引き続き努めてください。

## 保幼小中及びコミュニティ・スクールにおける連携・協働

### ○「育てたい子どもの姿」の共有

長岡市では、子どもたちが健やかに育ち、親と子が地域と共に成長していく、切れ目のない教育環境づくりに努めています。育てたい子どもの姿や身に付けさせたい資質・能力等を、園・学校・地域・家庭が共有し、相互理解を図りながら連携・協働する取組を充実させてください。

### ○積極的な連携と協働活動

教育効果を上げるためには、園・学校・家庭・地域が、その役割に応じた具体的な取組を着実に実践することが重要です。園・学校・家庭・地域で協議の場を設け、課題や実情に即した教育活動に協働して取り組むなど、積極的な連携と協働の推進に努めてください。